

2017 軽耐久シリーズ
Competition rule book
— 競技規則書 —



■ 重要なお願い

・競技規則書や車両規則書に定められた事項はすべて遵守ください。

特に車両規定について、参加クラスにより、変更範囲が異なることがあります。再度、車両規則書などの関係書類をよくお読みいただき、変更範囲内の改造をお願いします。現在実施している車検では、時間や設備などによる制約もあり、すべての項目において、確認することはできません。つまり、皆さんの良識をお願いしている部分が多々あるわけです。しかしながら、確認できないから変更してもかまわないということではありません。定められたルールは遵守いただき、その範囲でレースをお楽しみいただくことをお願いいたします。

なお、様々な疑義が生じたチームについては、その場で確認できる場合は「クラス変更」とともに「減算ペナルティ」を科すことがございますので、あらかじめご了承ください。これは、車両を購入した時点で「変わっていた(未必の故意)」なども同様です。

なお、クラス変更の判断、現状で問題がないとの判断など、すべてに対する決定権限は、主催者判断となりますことも、併せてご承知ください。

・お問い合わせは「問合せ専用メール」にてお願いします。

お問合せはメールにて、写真などを添付していただくと、回答もスムーズにおこなえます。

また、頂戴した質問内容・写真および回答内容は全参加者様に到達できますよう、当社HP内に専用ページを設け、そのページ内で頂戴した質問や写真、回答をQ&A形式で開示します。

これは、この参加チームには話したが、他のチームには話しておらず、「知らなかった」というケースを避け、全参加チームに情報が伝達されることを目的としています。質問があり、回答するたびにページは更新していきますので、Q&Aページをよくチェックしてください。

また、Q&Aページで開示している内容を「知らなかった」というのは一切認められませんので、あらかじめご了承ください。

※質問の際に頂戴した写真などについては、所有者様の許可無く、Q&Aページにて開示しますことも併せてご了承ください。)

なお、「問合せ専用メール」および「Q&Aページ」は完成次第、参加者の皆さんにご案内いたしますが、それまでの間は従来どおりのお問合せ先(下記)へお問合せください。(こちらメールにて写真などを添付していただくことをご協力ください。)

※専用ページや問合せメールが稼働し始める前に頂戴した質問や回答も、専用ページが出来次第、追って掲載いたします。

【問合せ先】 申込、競技内容などについて
株式会社ツインサーキット 軽耐久事務局
TEL:059-372-2401、FAX:059-372-2402
E-mail:info@twincircuit.co.jp

【問合せ先】 車両規則など車両に関する全般について
レインボーカラーズ株式会社
TEL:0566-91-3779
E-mail:info@rainbowcolors.jp

(重要) Rd. 2→Rd. 3変更点・追加要綱

Rd. 3からの変更点などは以下の通りです。必ず、各ページをよくお読みください。

・同乗者の服装について(P. 5)

装備類はドライバーと同様でなければいけませんが、**グローブのみは着用必須ではない。**

ただし、安全面を考慮し、着用を推奨する。

・ピットロードについて(P. 7&P. 14)

ピットロードの制限速度は40km以下となっていますが、それを超えているチームが散見しています。

ピットロードはチーム員に限らず、一般見学者やお子さんなども歩行していることがあり、とても危険です。

そこでスピード抑制も考慮し、**ピットロードに3か所のパイロンゲートを設置します。**

必ず、そのゲートを3か所通過し、ピットロードを走行するようにしてください。

また、**パイロンゲートの不通過、通過時のパイロン接触やパイロンを転倒させた場合は減算ペナルティ(1周)**となります。

・給油要員、消化要員の服装について(P. 9)

服装は、**フルフェイスヘルメット**、グローブ、長袖、長ズボン、靴を着用してください。

(ヘルメットはフルフェイスタイプの着用かつシールド全閉でなければいけない！)

※安全面を考慮し、フルフェイスヘルメットの着用が必須。また、シールドも全閉にしなければいけないように

変更します。ご自身の安全を守るものだと思います、遵守ください。

(重要) Rd. 1→Rd. 2変更点・追加要綱

Rd. 2からの変更点などは以下の通りです。必ず、各ページをよくお読みください。

・運転免許証の所持について(P. 1)

抜き打ちで運転免許証を確認する場合がありますので、必ず持参ください。

また、コースオフィシャルより運転免許証の提示を指示された場合は速やかに提示ください。

持参していないや提示を拒否する場合は、レースへの参加をお断りすることもあります。

・赤旗時にピットインしている車両のコースイン可能なタイミングについて(P. 11)

これまではローリングスタート後、隊列がフォーメーションラップ1周回し、メインポストでグリーンフラッグを振りレース再開した後の最後尾が通過した時点でコースイン可能とされていたが、実質2周回の差がつくことになるため
今後は、ローリングスタート後、コース上の全車両がメインストレートを通過し、安全が確認され、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わった時点でコースイン可能とする。

※これまでは・・・

ローリングスタート後、計時ライン通過(+1周)→フォーメーションラップ1周後、計時ライン通過(+1周)

合計:2周通過後、コースイン可能のため、実質2周回差がつく。

※今後は・・・

ローリングスタート後、計時ライン通過(+1周) 1周通過後、コースイン可能のため、1周回しか差がつかない。

・失格について(P. 14)

飲酒後に運転しようとした場合(運転しなくても運転席に乗り込んだ時点で失格)

※サーキットは公道ではありませんが、飲酒運転は厳禁です。

前回、飲酒したドライバーが運転しようとしたケースがありましたが、各自良識を持って行動ください。

飲酒運転や飲酒後に運転しようとしたことが発覚した場合は、理由の如何を問わず、即刻失格とし、

状況によっては、以降の大会への参加もお断りする場合があります。

1. 開催日程	Round. 1 : 5月 3日(水祝) / Round. 2 : 7月 9日(日) Round. 3 : 9月 3日(日) / Round. 4 : 12月10日(日)
2. 主催・協力	主催:株式会社 ツインサーキット(鈴鹿ツインサーキット) 協力:レインボーカラーズ 株式会社
3. 開催場所	鈴鹿ツインサーキット フルコース(1,750m) 〒510-0265 三重県鈴鹿市三宅町2913-2
4. 参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ■ 日本国内で有効な普通自動車運転免許証を所持の18歳以上の方 ※免許取得後、6カ月以上を経過していること ※抜き打ちで免許証を確認する場合がありますので、必ず持参しておくこと。 ■ サーキットのマナー・ルールを守り、走行・観戦できる方
5. 参加料金	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1チーム: 50,000円/1ラウンド(サーキット傷害保険代・自動計測器代含む) ・入場料金について・・・参加受理書送付時に、1チームあたり:入場チケット6枚を同封する。 入場チケットは当日持参し、入場ゲートでスタッフに渡すことにより、入場料金が免除される。 忘れた場合、入場料金(500円)が必要。未使用の入場チケットの返金はおこなわない。 ■ シリーズ固定ゼッケン取得料金:1,000円/年間(初回参加時に参加費用と併せて振り込む。) ※より参加チームは固定ゼッケンのみとなる。全チーム固定ゼッケン取得必須!
6. 参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1チームあたり:2名 ~ 6名 当日提出の参加誓約書に登録されているドライバーであれば交代、回数、走行順などは自由。
7. 参加クラス	<ul style="list-style-type: none"> ■ NA(自然吸気)エンジン <ul style="list-style-type: none"> ・オープンクラス ①NO(トゥデイ)クラス ②NOクラス・・・トゥデイ以外 ・クローズドクラス ①NC(トゥデイ)クラス ②NCクラス・・・トゥデイ以外 ・ノーマルクラス ①NNクラス ■ 過給器(ターボ)付エンジン <ul style="list-style-type: none"> ・オープンクラス ①TOクラス ・クローズドクラス ①TCクラス <p>※車両に関する詳細は、「車両規則書」を参照</p>
8. 参加台数	■ 全クラス合計:35チームまで

<p>9. 参加申込</p>	<p>■ 申込受付期間(申込受付期間外の受付はおこなわない。) Round. 1 : 4月4日 ~ 4月28日 / Round. 2 : 6月8日 ~ 7月4日 Round. 3 : 8月3日 ~ 8月29日 / Round. 4 : 11月10日 ~ 12月5日</p> <p>■ 申込方法</p> <p>① 当社HPよりWEB申込をおこなう。(FAXや郵送での受付は一切おこなわない。) ・受付開始は申込受付日の深夜0:00~となる。(それ以前の送信分は削除される。) ・必要項目をすべて入力しなければ申込として受理されない。 ・WEB申込受付後、申込受信メールを返信するので、確認すること。 (申込受信メールはあくまで申込を受信したことの確認メールであり、内容に不備がある場合などは申込受理とならないこともあるので、注意すること!)</p> <p>② 上記申込から3日以内に参加料金を下記口座に振込むこと。 【振込先】 三菱東京UFJ銀行 春日井支店 普通口座 No.4660927 口座名義:株式会社 ツインサーキット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振込人名は「参加申込書」に記載の代表者名とする。 ・振込手数料は参加者負担となる。 ・振込確認は三菱東京UFJ銀行のインターネットバンキングでおこなう。振込順はインターネットバンキングでの表示順で決定し、振込順やピット位置などの苦情は一切受け付けない。 ・受付開始日前の振込は、受付開始日にWEB申込、振込したチームの最後尾扱いとする。 ・振込以外の「現金持参」や「現金書留」などは一切受け付けない。 <p>(止むを得ない事情で、振込以外で支払う場合は、その日の受付分の最後尾扱いとなる。)</p> <p>■ 申込の成立 「WEB申込」と「入金確認(振込)」が取れてはじめて、申込成立とみなす。 確認が取れ次第、事務局より参加受理書類を郵送する。(参加誓約書は当日必ず持参すること。) 注)「隣接ピット希望あり」の場合、すべての対象チームの申込および入金 completed していなければ処理されず、後回しとなるので注意すること!</p> <p>■ キャンセルについて・・・必ず事務局まで電話連絡すること。 ・各申込受付期間終了日の10日前までのキャンセル⇒事務手数料1,000円を差し引いて返金。 ・上記を超えてからのキャンセル⇒キャンセルは認めない。(リタイヤ扱い)</p> <p>注)2017年からの変更点 車両申請書は参加申込後、開催日1週間前までに記入の上、FAXにて送ること。</p>
<p>10. 参加受付</p>	<p>■ 参加チームの代表者は、受付終了時間までに受付事務所にて参加受付を完了させること。 ■ 参加受付に必要な書類・・・参加誓約書(登録ドライバー全員の署名、捺印が必要) ※未成年者は親権者の同意が必須。 ※書類未提出の場合、レースへの参加は認められない。</p>

<p>11. 自動計測器</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■自動計測器は、サーキットスタッフが後部ナンバープレート付近へ取付する。 ■主催者が貸与する自動計測器以外のAMB社製トランスポンダーを取り付けてはいけない。 ただし、ラップショットやP-LAPなど、主催者の計測装置に影響のない計測機器の取り付けは自由とする。 ■貸与した自動計測器は、決勝レース終了後、30分以内にコントロールタワー1F受付事務所まで返却すること。制限時間内に返却がなければ失格とする。 ・レース途中でのリタイヤの場合は、リタイヤの届け出時に併せて返却すること。 ■貸与した自動計測器を破損、紛失した場合、如何なる理由を問わず、その原状復帰費用として、1台あたり50,000円(税込)を主催者に支払わなくてはならない。
<p>12. ゼッケン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ゼッケンは各チームで準備し、フリー走行前までに貼り付けること。 ■貼り付け箇所は4箇所。 ①ボンネット左上(車内から見て左手前)、②③左右ドア、④リアゲート付近 ■ゼッケンベースは白、文字は黒(書体はゴシック体)。 ■文字サイズ ①②③:高さ・幅200mm、太さ30mm程度。④:高さ・幅150mm、太さ20mm程度。 ■雨などでゼッケンベースが破れ、滑落しないよう、各自工夫すること。 ■ゼッケンが「見づらい」と判断した場合やゼッケンが作成できないチームは、当社作成のゼッケンを購入する。(2,000円/4枚) ※ゼッケンの作成可否は申込時に申告すること。 <p>【クラスゼッケン】・・・ゼッケンの四辺にクラス識別用の枠線をつける。 オープンクラス:青色枠、クローズドクラス:黄色枠、ノーマルクラス:ピンク色枠 ※自前ゼッケンに上記指定枠を取付け、クラス識別をおこなう。 ※枠線の太さは20mm程度。</p>
<p>13. ピットの使用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■使用ピットは主催者が割り当てする。(ピットの指定はできない。) ・ピットの割り当ては申込受理順のため、屋根付ピットも電源も使用できない場合がある。 ・ピットの割り当てなどに関する抗議は一切受け付けない。 ・チーム間でのピット位置の変更は認めない。 ■屋根付ピットのチームは自チームのピット柱にある電源の使用可能。 (他チームの使用電源からのタコ足配線による使用は認めない。) ■屋根付ピット以外が割り当てられたチームで電気の使用が必要な場合は、自前で発電機などを持ち込み、使用してもよい。(発電機の給油は認めるが、火災などに十分注意すること。) ■ピット内での火気使用(喫煙を含む)および給油(発電機への給油以外)は一切禁止とする。 違反したチームは即刻失格とする。特に喫煙が散見しているので注意すること。

14. 消火器	<ul style="list-style-type: none"> ■各チームとも消火器を準備し、使用ピットに常備すること。 【粉末タイプ 薬剤重量:2.0kg以上】または【CO2タイプ 薬剤重量:2.0kg以上】 ・車載消火器とは別で用意しなければならない。
15. 車検	<ul style="list-style-type: none"> ■各回のタイムスケジュールで定める時間に、各チームのピットにて実施する。 ■登録されたドライバーやメカニックの最低1名以上が立ち会うこと。 ■クラス別の車両規則に合致しない場合、上位クラスへ変更の上、減算ペナルティ(10周)が科されることを条件に大会への参加を認める。 ■規則または安全上、出走に不適格と判断された車両は、大会への参加を認めない。 ■車検完了後、車両の変更は認められない。違反したチームは失格となる。 ■主催者は大会中、随時車検を実施できることとし、参加チームはそれを拒否できない。
16. ドライバースミューティング	<ul style="list-style-type: none"> ■場所は場内アナウンスで案内する。(時間はタイムスケジュール参照) ■登録ドライバーは全員参加とする。 ■ミーティング時間内はエンジnstopp厳守。その他、音によりミーティングの妨げになる機器(発電機など)もすべて停止すること。
17. 装備品	<ul style="list-style-type: none"> ■ヘルメット(フルフェイス、ジェット) ※SNELL規格またはJIS C種が望ましい。 ■長袖、長ズボン(厚手のもの) <ul style="list-style-type: none"> ・怪我や火災から身を守ることを考慮し、厚手の綿素材のものを強く推奨する。 レーシングスーツ(ダブルレイヤー以上)が望ましい。 ■シューズ(運転に適したシューズ) ※ドライビングシューズが望ましい。 ■グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの) ※軍手は不可。
18. 走行における遵守事項	<ul style="list-style-type: none"> ■4点式以上のシートベルトを装着すること。 ■運転席側の窓は2/3以上(屋根をオープンにする場合は、全閉)閉めること。 <ul style="list-style-type: none"> ・ただし、ウインドウセーフティネット装着の場合は、全開でもよい。 ・(同乗走行を除き)助手席および後部座席は全開でもよい。(屋根をオープンにする場合も同様) ■故意に既定の走路から外れたり、コースおよびコーナーをショートカットすることは禁止される。 <ul style="list-style-type: none"> ・予選:「該当タイム抹消」、決勝:「減算ペナルティ(1周)」となる場合がある。 ■ランオフエリアやダートエリアに進入した場合、安全を確認の上、速やかに既定の走路に戻ることができる。ただし、泥や砂利などを巻き込み、コースオフィシャルにより、ピットインが命じられた場合は、直ちにピットインし、洗車場にて洗車を行わなければならない。(決勝中の場合、上記のピットインは義務ピットイン回数には含まない。)

	<ul style="list-style-type: none"> ■大会期間中、如何なる場合でも危険な運転行為を行ってはならない。 ・「故意に衝突すること」や「他の車両のコースアウトを強いること」など ■事故や故障により、コース内で停止する場合、競技中の他の車両の妨げとならないよう、走路外のダートエリアに停止し、待機すること。降車したり、装備類を取り外してはいけない。(やむを得ない場合を除き、コーナー付近の危険箇所を避け、安全位置に停止すること。) その後の対応はコースオフィシャルの指示に従う。 ■走行中の服装について 「グローブを外している」や「袖まくりや裾まくりをしている」はペナルティの対象となる場合があるので、注意すること。
19. フラッグについて	<ul style="list-style-type: none"> ■チェッカーフラッグ 【フリー走行・予選】:セッション終了 / 【決勝】:レース終了 ■イエローフラッグ(黄旗) 前方にスピン車両・停止車両・落下物などあり 静止:減速し、注意して走行すること 振動:該当箇所または次のポストまで速度を落とし、追い越し禁止 ■レッドフラッグ(赤旗) 【フリー走行、予選】:走行中断(減速し、速やかにピットインすること、追い越し禁止) 【決勝】:レース中断 (追い越し禁止。減速して進み、コースオフィシャルの指示に従い、メインストレート上で停止) ■グリーンフラッグ(緑旗) 【フリー走行、予選】:コースイン可能 【決勝】 スタート時:フォーメーションラップ開始 / 赤旗再開時:ローリングスタート開始 ■オレンジボールフラッグ(黒地にオレンジの○)+ゼッケンボード この旗を振られ、ゼッケンボードで掲示されたゼッケンNo.の車両は、速やかにピットインすること。(ピットイン後、スタッフの指示に従うこと。)
20. フリー走行	<ul style="list-style-type: none"> ■予選前にフリー走行が行われる。 ■ドライバー交代、ピットイン回数などの制限はなし。 ■助手席への同乗走行は認められる。ただし、登録されているドライバーのみであり、装備類はドライバーと同様でなければいけない。(同乗者はグローブ着用必須ではないが推奨。) ■フリー走行終了後は、指定ピットへ戻ること。 ■フリー走行では自動計測器の動作確認も行うため、必ず全チーム、自動計測器が取り付けられた上体で、最低1周以上は走行すること。

21. 予選	<ul style="list-style-type: none"> ■フリー走行終了後に予選が行われる。 ■ドライバー交代、ピットイン回数などの制限はなし。 ■同乗走行は禁止。走行は登録ドライバーに限る。 ■予選後は指定ピットに戻る。
22. 中断・再開 (フリー走行および予選)	<ul style="list-style-type: none"> ■走行続行が危険と判断した場合、全ポストで赤旗振動により、走行中断が合図される。 各車、減速の上、速やかにピットインすること。 ■競技再開については、ピットロードエンドの信号を「緑」点灯して知らせる。 その後、各自の判断で再コースインしてもよい。 ■フリー走行および予選中の赤旗中断から再開までの時間は、ロスタイムとしては扱わない。
23. 決勝グリッド	<ul style="list-style-type: none"> ■グリッドは予選タイムアタックのタイム順とする。 ■予選タイムアタックでタイムを残せなかったチームは、タイムの残った最下位の車両の後ろのグリッドとなる。タイムの残せなかったチームが複数ある場合は、ゼッケンNo.の小さい順とする。
24. スタート方法	<ul style="list-style-type: none"> ■スタートは、スタンディングスタート(グリッドスタート)とする。 <ul style="list-style-type: none"> ①決勝開始15分前頃に、ピットロードエンド付近にグリッド順に整列するよう指示がある。 各チームは、車両をピットロードエンドへ速やかに移動すること。 ②ピットロードエンドの信号が青色点灯されたら、各車速やかにコースインする。 ・整列できない車両およびトラブルなどによりコースインできない車両は、ピットスタートとなる。 ③コースイン後、1周回し、ホームストレート上のダミーグリッドに整列し、エンジンを停止する。 ・チーム員はコース内に入り、自チームの車両のグリッド整列補助をしてもかまわない。 ・グリッド上ではリバースギアを絶対に使用してはいけない。(必要時は人力でバックさせる。) ・グリッド上での給油、タイヤ交換作業などを含む各種作業は禁止とする。 ④フォーメーションラップ開始3分前、「3分前ボード」を掲示する。 ・第1ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する。 ・レーススタートまでは、ピットロードやコンクリートウォールへの入場は禁止。 ⑤フォーメーションラップ開始1分前、「1分前ボード」を掲示する。 ・ドライバーは着座した状態でエンジンを始動する。 ⑥フォーメーションラップ開始 メインポストで緑旗が振動表示されたら、順列を保ったまま、コースを1周回する。 ・トラブルなどでスタートできない車両は、手をあげてコースオフィシャルおよび後続車両に合図を送ること。コースオフィシャルの補助でエンジン始動を試み、スタートできれば、速やかに隊列の最後尾につく。スタートできない場合は、ピットスタートとなる。

	<p>⑦スターティンググリッドへの整列 各車両は、各自のスターティンググリッドへ整列し、エンジンを始動したまま待機する。</p> <p>⑧全車両が整列したことが確認されると、スタート信号灯の赤色ランプが点灯する。 この後、約2～5秒後に赤色ランプが消灯(ブラックアウト)され、スタートとなる。</p> <p>⑨ピットスタートの車両は、レーススタート後、コースオフィシャルが安全を確認した後、メインポストで緑旗が振られ、ピットロードエンドの信号が青色に点灯したら、スタートできる。</p>
<p>25. ピットイン・ピットアウト</p>	<p>■ピットインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピットインする車両は、第2ヘアピン付近からコースの左側に寄り、左ウインカーもしくはハザードで後方車両に合図を送った後、安全を確認して、ピットロードに進入する。 ・ピットインの際、ホームストレートのゼブラゾーンをまたいで、ピットインしてはいけない。 ※ゼブラカットした場合・・・フリー走行:警告、予選・決勝:ペナルティストップ(忠告) ・停車した車両や、ドライバー、メカニックは、その他のピットイン/ピットアウトする車両の通行を妨害してはならない。 <p>■ピットロードでの制限速度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40km以内とし、横断者や他の車両などに十分注意すること。 ※ピットイン入口、ピットロード中央付近、ピットアウト出口にパイロンによるゲートがあるのでそこを必ず通過すること。また、パイロンゲートの不通過、通過時のパイロン接触、転倒させた場合は減算ペナルティ(1周)が課される。 <p>■ピットアウトについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピットロードエンドの信号が「緑」点灯している時のみに限られる。 違反した場合・・・フリー走行:警告、予選・決勝:ペナルティストップ(3分停止) ・ピットアウトの際、ホームストレートのゼブラゾーンをまたいで、コースに合流してはいけない。 ※ゼブラカット・・・フリー走行:警告、予選・決勝:ペナルティストップ(忠告) ・ピットアウト後、コースに合流する車両は、第2コーナー左側の縁石が終了する辺りまで、コースの左側を走行し、後方からの車両の走行を妨げてはならない。 <p>■ピットロードでの注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逆走禁止、バックギア使用禁止。 ※自チームのピットを通り越した場合、ピットスタッフ承認の上、エンジン停止し、ドライバーおよびメカニックが後ろ向きに押し、自チームのピットにつけることができる。 その際、他のピットイン/ピットアウトする車両の通行や停車車両などの作業を妨害してはならない。 ・ピットアウト車両は、ピットイン車両に優先権があることを認識しておくこと。

26. 義務ピットイン
およびピット作業

- 決勝スタートからチェッカーまでの間に4回以上、義務ピットインしなければいけない。
 - ・ピット作業(ドライバー交代、車両修理・調整)や(給油所での)給油のみのピットインは義務ピットイン回数にカウントされる。
 - ・以下のピットインは、義務ピットイン回数にカウントされない。
 - ①赤旗対象車両がピットインする時
 - ②オレンジボールフラッグ対象車両がピットインする時
 - ③ドライブスルー・ピットストップペナルティ対象車両がピットインする時
- 「義務ピットイン回数違反」(4回未満):減算ペナルティ(3周)
- ピットストップ時のエンジン停止は問わないが、安全面に留意し、危険のないピット作業を心掛けること。
- 作業が長時間になる場合は、ピット作業エリアではなく、自チームピット内に車両を移動させ、作業すること。
- ピットを水浸しにするような行為は、出火時などの緊急時を除いては慎むこと。
(ラジエターやタイヤの冷却の場合は、噴霧器を準備し、それを利用すること。)
- ピットロードやピットエリアでは以下の行為は危険のため禁止とする。
 - ①傘(日傘を含む)の利用。 ②ハイヒール、サンダルの着用。
- タイヤ交換について
 - ・回数の制限などはなし。
 - ・交換時には必ずピットスタッフに「交換する」旨を申請すること。
(ピットスタッフがタイヤ銘柄、形状などを確認する。)
 - ・申請のないタイヤ交換は、「ペナルティストップ」とし、ペナルティ消化時にタイヤ銘柄、形状の確認をおこなう。

27. 給油に関して

■ 燃料申請について

- ・給油所にて持込燃料の申請をおこなう。
- ・「持込可能時間」はタイムスケジュールにて確認すること。
- ・時間外持込は、大会への参加は認めるが、賞典外とする。

■ 燃料について

- ・持込可能総量は60Lまでとする。(携行缶20L×3本)

■ 持込容器について

- ・消防法に適合した市販品の「20Lの金属製ガソリン携行缶」のみとする。
- ・加工の範囲
 - ※ノズルの交換、ノズル用バルブの取付は認められる。(電動ポンプは禁止)
 - ※携行缶本体の加工、エア調整ネジの取替・変更は認められない。
- ・20L缶以外(10Lなど)の使用は禁止とする。
- ・ポリタンク(樹脂製)やオイルジョッキの使用は禁止とする。

■ 給油について

- ・給油は必ず給油所でおこなう。
(ピットなど給油所以外での給油が発覚した場合は失格とする。)
- ・「給油可能時間」は、タイムスケジュールにて必ず確認しておくこと。
(特に決勝スタート前進行時の給油は禁止。スタート後からOK)
- ・1回の給油量は1缶(20L)までとする。(決勝中だけではなく、どのセッション中もすべて)
例)2缶の携行缶にそれぞれ10Lずつの燃料が残っていても、1回の給油では1缶(10L)しか給油できない。1回の給油で2缶分(10L+10L=20L)をすべて使用したい場合は、給油作業前までに給油所スタッフの許可を得て、1缶にまとめておくこと。

■ 給油方法について

- ・給油は必ず、給油要員、消化要員あわせて、2名～3名体制でおこなう。
- ・ドライバーを給油要員または消化要員としてもよい。
- ・給油要員および消化要員は、**フルフェイスヘルメット**、グローブ、長袖、長ズボン、靴を着用。
(ヘルメットはフルフェイスタイプの着用かつシールド全閉でなければいけない！)
(腕まくり、裾まくりは禁止。靴はクロックスなどのサンダルは禁止。)
- ・消化要員は給油中の給油要員の隣で消火器を構え、消火器のノズルを給油口に向けておかなければいけない。(給油所に備え付けの消火器をしてもよい。)
- ・給油の際は、必ず携行缶のエア調整ネジを緩め、缶内の圧力を調整してから、タンクキャップを取り外すこと。キャップを一気に外すと、内圧差によるガソリンの噴出、キャップの飛び出しなどによる事故が起きる恐れがあり、大変危険！

	<ul style="list-style-type: none"> ■給油エリアへの入退場について <ul style="list-style-type: none"> ・給油エリアへの進入の際、チーム員がエリア手前に定めたライン上に車両の進入を塞ぐように立ち、惰性での進入を防ぐ。車両はライン手前で必ずエンジンを止め、車両も完全に停止させる。その後、チーム員が車両を手押しし、給油エリアへ進入すること。給油エリアから出る場合も同様。(手押しするチーム員の服装は問わない。ただし、給油作業には関わらないこと。) ■給油エリアでの禁止事項(終日) <ul style="list-style-type: none"> ・給油以外の作業(窓拭きなどの軽微なものも含む)。ただし、ドライバーが給油要員の場合、給油後の乗車に関するシート調整は許可される。 ・車両のジャッキアップ。 ・火気(喫煙を含む)の使用。 ■ペナルティについて <ul style="list-style-type: none"> ・給油に関する違反は、減算ペナルティ(1周)が科せられる。給油規定違反、服装違反、給油エリア内エンジンONなどすべてが対象。ただし、給油エリア内で火気(喫煙を含む)を使用した場合は、失格とする。
<p>28. レース中断(赤旗) および再開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■レース中断(赤旗) <ul style="list-style-type: none"> ・アクシデントなどにより、レースの続行が難しいと判断した場合、赤旗を掲示して、レースを一時中断させることがある。 ・赤旗は、全ポスト一斉掲示ではなく、メインポストにて先頭車両から掲示される。全車両とも、メインポストにて赤旗掲示を受けたら、そのまま徐行した状態で1周回し、メインストレート上でコースオフィシャルの指示に従い、停車すること。(エンジンは始動したままでよいが、コースオフィシャルよりエンジン停止の指示があった場合は、速やかにエンジンを停止させること。) ・赤旗掲示中はピットインしないこと。(赤旗掲示前にピットインしていた車両は除く。) ・メインストレート上での停車車両に対して、ドライバーは一切の作業をしてはいけない。 ・チーム員のコースへの進入も禁止。(赤旗中断が長引き、コースオフィシャルより許可が出た場合は除く。) ■レース再開(ローリングスタート) <ul style="list-style-type: none"> ・ローリングスタート開始の合図は、メインポストにてグリーンフラッグ振動表示にて知らせる。 ・先頭車両からスタートし、原則として“1周”のフォーメーションラップをおこなう。 ・再開可能と判断した場合は、メインシグナル「緑」点灯およびメインポストからの緑旗(グリーンフラッグ)振動表示をもって、再スタートとする。 <p>※フォーメーションラップは、前車との間隔を5車身以内に保たなければならない。前車との間隔が開きすぎた車両は、ドライブスルーペナルティとなる。</p>

	<p>※フォーメーションラップは基本的に1周とするが、状況により2周以上走行する場合もある。 メインストレートの各車両にはコースオフィシャルから通達されるので、その指示に従う。 ※赤旗再開時のフォーメーションラップも正式周回としてカウントされる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤旗掲示～レース再開までの間は追い越し禁止(ドライブスルーペナルティ)とする。 判定は、主催者の計測装置から出力された結果で判断し、メインポストより先頭車両から順番に赤旗を掲示した際の通過順と、再スタート後の通過順を比較し、ペナルティの判定をおこなう。 <p>■赤旗中断中にピットインした車両について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローリングスタート後、コース上の全車両がメインストレートを通過し、安全が確認された後、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わった時点でコースインが可能となる。 ローリングスタート後のコースイン可能なタイミングでピットアウトできない車両は、レース再開後、隊列がメインストレートを通過し、安全が確認され、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わった後しかコースインできない場合もある。 <p>■赤旗対象車両について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コースから自力でピットに戻れた場合や結果的に走行に問題がない場合でも、必ずピットインしなければいけない。 ※この際のピットインは義務ピットインには含まれない。 ・問題点を解決した上で、コースオフィシャルが復帰を認めた場合のみコース復帰可能。 <ul style="list-style-type: none"> ①「自力でピットに戻れなかった場合」: 賞典外でコース復帰可能。 ②「自力でピットに戻れた場合」: コース復帰可能。 ・赤旗対象車両が赤旗継続中に再コースインすることはできない。 コースインできるタイミングは赤旗中断中にピットインした車両と同様である。 ただし、赤旗中断中にピットインした他の車両と同じタイミングでコースインする場合、その最後尾からのコースインとなる。
<p>29. フルコースコーション ※SC(セーフティーカー)導入</p>	<p>■フルコースコーション【セーフティーカー(SC)導入】 アクシデントなどにより、走行に支障があるが、中断の必要がない場合に導入される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全ポスト一斉に「SC」ボードと黄旗(イエローフラッグ)を振動表示。 ②メインストレートのメインシグナルが「黄」点滅される。 ③ピットロードエンドよりSCが導入され、フルコースコーションとなる。 <p>※すべての走行車両は最徐行し、追い越し禁止とする。 (追い越しした場合はドライブスルーペナルティとなる。)</p> <p>※ピットイン/ピットアウトが一時的に出来なくなる。(ピット出入口を封鎖する。)</p> <p>※この時点でピットにいる車両のコースインは制限される。</p>

- ④SCは暫定TOP車両の位置に関係なく導入され、SCの指示により、暫定TOP車両がSCの後ろにつくまで、その他の車両を追い越させる。追い越しの指示を出された車両は速やかにSCを追い越し、隊列の最後尾にまわること。
※暫定TOP車両のゼッケンはメインポストで掲示するのでドライバーは確認すること。
- ⑤SCが暫定TOP車両の前に入り、隊列が整った後、コース上の安全が確認されまでは、SC先導のまま周回を重ねるが、この間の周回数はカウントされる。
※ピット入口は開放され、ピットインしての給油作業、ドライバー交代、点検作業などは認められる。
- ⑥(コース上の安全が確認され)レース再開の際、SCが全灯火類およびパトライトを全消灯し、最終コーナー付近からアウトラインに車両を寄せ、ピットインする。
- ⑦SCがピットインし、暫定TOP車両が隊列を先導し、メインポストにて、緑旗(グリーンフラッグ)が振動表示され、メインシグナルが「緑」点灯したら、レース再開となる。
※全車両はメインポスト前を通過するまで追い越しをしてはならない。
- ※フルコースコーション中にマシントラブル、ガス欠などにより隊列走行の維持が困難な場合は、後続車に合図を送り、アウトラインを走行すること。(該当車両の追い越しはOK)

■フルコースコーション中にピットインした車両について

- ①SCが暫定TOP車両の前に入り、隊列が整ったことを確認。
- ②SCを先導とした隊列最後尾がメインストレートを通過し、1コーナー付近に差し掛かったあたりで、ピットロードエンドの信号が「赤」→「緑」に変わり、コースイン可能となる。
- ③コースインした車両は速やかに隊列最後尾につく。(追い越し禁止)
- ④隊列最後尾(ピットからコースインした車両)がピラミッドコーナー付近に差し掛かったらピットロードエンドの信号が再び「緑」→「赤」に変わり、コースイン不可となる。
- ⑤以降、②～④を繰り返す。

■SC導入対象車両について

- ・コースから自力でピットに戻れた場合や結果的に走行に問題がない場合でも、必ずピットインしなければいけない。
※この際のピットインは義務ピットインには含まれない。
- ・問題点を解決した上で、コースオフィシャルが復帰を認めた場合のみコース復帰可能。
 - ①「自力でピットに戻れなかった場合」: 賞典外でコース復帰可能。
 - ②「自力でピットに戻れた場合」: コース復帰可能。
- ・SC対象車両はSC導入中の再コースインはできない。
コースインできるタイミングはSCがピットに戻り、コース上の隊列が再スタートした後、ピットロードエンドの信号が「緑」になるまでは再コースインできない。
また、SC対象以外の車両が並んでいる場合、その最後尾からのコースインとなる。

30. ペナルティ

各種ペナルティ(予選・決勝が対象。フリー走行中は警告のみとする。)

■「ドライブスルーペナルティ」

- ・対象車両には、メインポストより『DP』ボードとゼッケンボードを掲示。
- ・対象車両は、速やかにピットインし、ピットロードを40km未満で通過する。(ピット停車禁止)

【対象違反】

- ①黄旗時追い越し(フルコースコーション時含む)
- ②赤旗～レース再開時追い越し
- ③(赤旗再開時)フォーメーションラップ中の車間開け過ぎ

■「ペナルティストップ」

- ・対象車両には、メインポストより『PS』ボードとゼッケンボードを掲示。
- ・対象車両は、速やかにピットインし、ピットロードを40km未満で通過し、ペナルティ実行場所であるピットストップエリアに停車し、コースオフィシャルの指示に従う。(ピット停車禁止)

【対象違反: 忠告のみ】

- ①ゼブラカット
- ②運転席側窓開き走行
- ③ウインカー、ハザード走行
- ④服装違反(袖まくり、裾まくり、グローブ未着用など)
- ⑤危険運転
- ⑥申告なしのタイヤ交換
- ⑦その他(競技長判断)

【対象違反: 3分停止】

- ①ピットロードエンド信号無視

※救済措置として「②窓開き走行」、「③ウインカーやハザード走行」、「④服装違反」に関しては、発見次第、まずはメインポストより警告ボードを掲示し、掲示から3周以内に改善された場合は警告のみとするが、改善されない場合は、ペナルティストップとする。

※「ドライブスルーペナルティ」や「ペナルティストップ」は、ボードを掲示されてから3周以内に実行されない場合、以降1周経過ごとに、最終結果から1周減算の追加ペナルティを科される。(1～3周:減算なし、4周:1周減算、5周:2周減算…)

※ペナルティ対象車両のピットインは、義務ピットイン回数に含まない。
競技者からの申告・抗議は一切受け付けない。

■「減算ペナルティ」 ※下記以外でも、競技長判断で減算ペナルティなる場合もある。

・1周減算

- ①故意に走路から外れたり、コースショートカットした場合 ※予選「該当週のラップタイム抹消」
- ②給油規定違反(全般)【給油エリアエンジン非停止、給油エリア作業に関する違反(服装など)】
- ③ダブルチェッカー
- ④ピットロードのパイロンゲート不通過、パイロン接触、パイロン転倒させた場合

・3周減算

- ①義務ピットイン回数(4回以上)違反

・10周減算

- ①(クラス別)車検にて車両規則に合わず、クラス変更となり、大会へ参加する場合

・その他

- ①ペナルティボード無視(4周目以降1周ずつ減算が増える。)
- ②チェッカー間際で“ドライブスルー”や“ピットストップ”の各ペナルティが実行できない場合(減算数は競技長が判断する。)

※減算はすべて最終結果より減算となる。(レース中のラップを減算するわけではない。)

「失格」(大会期間中) ※下記以外でも、競技長判断で失格となる場合もある。

- ①ピット内での火気(喫煙を含む)使用や給油(発電機への給油以外)などがあった場合
- ②規則や安全上、走行に不適格と判断された場合
- ③車検後に車両変更した場合
- ④競技車両で施設外へ出た場合(買い物なども一切禁止)
- ⑤給油エリア内で火気(喫煙を含む)使用があった場合
- ⑥決勝後、自動計測器が30分以内に返却されない場合
- ⑦飲酒後に運転しようとした場合(運転しなくても運転席に乗り込んだ時点で失格)

「賞典外」

- ①赤旗やSC時、自力でピットに戻れず、コースオフィシャルの補助を受けた上、ピットに戻り、その後、再コースインする場合。
- ②コース上で止まった、バッテリーがあがったなどで、押しがけなどコースオフィシャルの補助が必要な場合や自分でエンジンがかけれない、惰性に戻るなどコースオフィシャルが危険と判断した場合(状況によっては赤旗やSCとし、コースオフィシャル補助の上、強制的にピットに戻すこともある。)

※ペナルティや失格、賞典外は競技長、コースオフィシャルが判断するものであり、競技者やチーム関係者などからの申告・抗議は一切受け付けない。

31. レースの終了	<ul style="list-style-type: none"> ■ 決勝レースの終了時間を経過した後に、トップ車両に対してメインポストよりチェッカーフラッグが振られ、レース終了となる。 ■ チェッカーを受けた車両は、ハザード点灯し、スローダウンの上、コースを1周回し、ピットインすること。 ※ただし、再車検などでコース上での車両保管をする場合もあり。 ※ダブルチェッカーは減算ペナルティ(1周)となる。 ※2016年より計測ラインがメインポスト下となり、順位はメインポスト下の計測ラインを通過した順で決定される。 ※コース内でチェッカーを受けた車両のみが完走扱いとなるので要注意。
32. 抗議など	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「フリー走行開始～予選終了まで」と「決勝終了後15分以内」に競技長にチーム代表者が申告すること。上記タイミング以外の抗議は一切受け付けない。
33. 順位の決定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 順位認定は、メインポスト下の計測ラインを通過し、さらにメインポストでチェッカーを受けて周回を完了した車両に対して与えられる。(完走扱い) ■ 順位はチェッカーを受けた車両の中で周回数が多い車両から決定する。 同一周回の場合は、計測ライン通過順位によるものとする。 ■ 走行周回数が各クラスの優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(非完走扱い)
34. 再車検	<ul style="list-style-type: none"> ■ レース終了後に、上位入賞車両(暫定)には再車検の指示が出る場合がある。 ■ 再車検場所などは別途案内する。 ■ 再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。
35. 賞典	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各レースの表彰はクラス単位で行う。(総合順位はない。) ※NO/NCの各クラスは、「トゥデイ」と「それ以外の車種」で賞典を分ける。 ■ 賞典対象は各クラス別の参加台数により変動する。 ※6台以上:1～3位(楯+副賞)、4～5台:1～2位(楯+副賞)、3台以下:1位(楯のみ) ※クラス別参加台数が3台に満たない場合、シリーズポイントは付与されない。

36. シリーズポイント

■最終戦終了後、シリーズチャンピオンの表彰をおこなう。

■獲得ポイント(各レース)

1位:20ポイント

2位:15ポイント

3位:10ポイント

4位: 8ポイント

5位: 6ポイント

6位: 4ポイント

7位: 3ポイント

8位: 2ポイント

※完走し、順位認定された場合のみポイントが付与される。

(リタイヤを含む非完走やレース後に規定違反などで失格になった場合などはポイントが付与されない。)

※1レースのクラス別参加台数が3台に満たない場合、そのクラスはポイントを付与しない。

■シリーズ順位(クラス別)決定方法

・最終戦終了後、各レースの獲得ポイントを集計し、獲得ポイントがもっとも多かったチームをシリーズチャンピオンとする。

・同一ポイントが複数チームの場合、総合周回数の多いチームが上位。
(各レースの周回数を集計し、総合周回数を算出。)

・総合周回数も同じ場合、シリーズ中のベストラップの早いチームが上位。
(対象チームの全出場レース中のベストラップにより決定。)

注)リタイヤ(非完走)や失格となったチームの、該当レースの周回数およびベストラップは最終のシリーズポイント集計時に反映されない。